

中長期事業ビジョン「VISION2030」

当社は、新企業理念である「鳥居薬品の志」を実現するために、2030年に向けて当社が目指す姿として中長期事業ビジョン「VISION2030」を策定するとともに、「VISION2030」の達成に向け、2022年度から2024年度を対象期間とする「中期経営計画2022-2024」を策定しました。

中長期事業ビジョンの実現に向けて、成長戦略の各施策とステークホルダーからの信頼維持策に取り組んでまいります。

中長期事業ビジョン「VISION2030」

2030年に目指す姿

医療ニーズを深く理解し、その充足のために
高い専門性と機動力を持って
関係する皆様との共創を最適な形で進め、
価値ある新薬を見だし届ける
存在感のある製薬企業

「VISION2030」のターゲット

- 過去最高の売上高^{*1}を更新
- 過去最高益^{*2}更新を射程に入れる

※1：641億円(2017年12月期) ※2：営業利益133億円(2001年3月期)

事業戦略

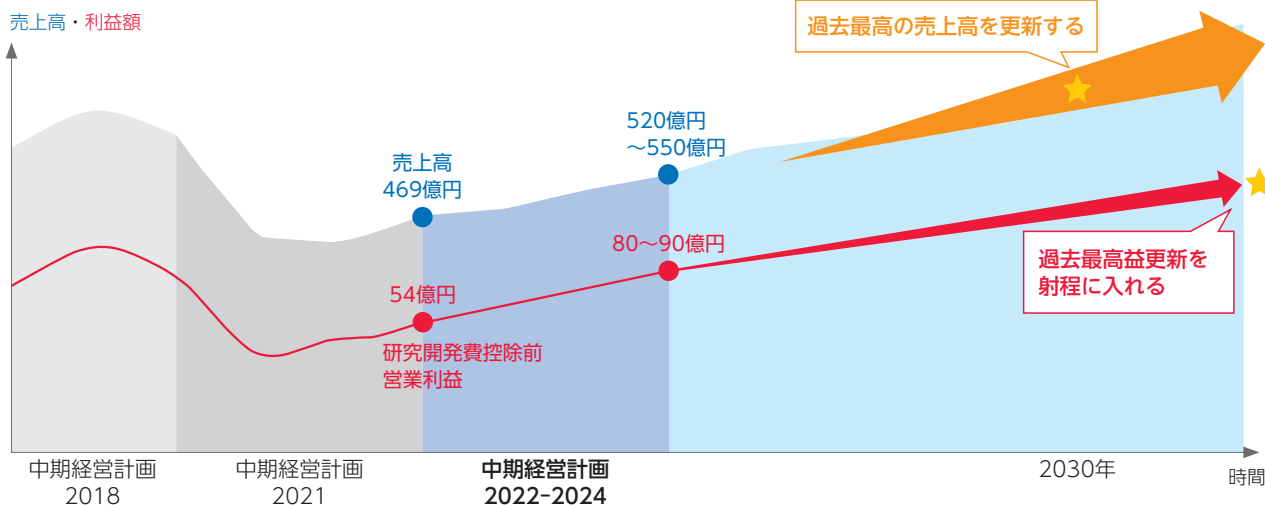
① 導入活動の強化

② 製品価値最大化のための仕組み作り

中長期事業ビジョン「VISION2030」

VISION2030ターゲット：変動を乗り越えて安定成長へ

売上高・利益額



及び「中期経営計画2022-2024」

「中期経営計画2022-2024」

「中期経営計画2022-2024」主要施策

成長戦略

- ▶ 成長期新薬の普及・育成・価値最大化
(エナロイ、リオナ、コレクテム、シダキュア、ミティキュア、オラデオ)
- ▶ 新薬開発の推進 (JTE-061、VP-102)
- ▶ 導入体制の強化
- ▶ 経営戦略に沿った人事制度等の整備と働き方改革
- ▶ 企業風土改革

ステークホルダーからの信頼維持

- ▶ 安定供給体制の整備・強化
- ▶ 薬事規制の遵守と品質保証
- ▶ コンプライアンスの強化
- ▶ コーポレートガバナンスの強化

「中期経営計画2022-2024」の計数指標

VISION2030の目指す姿実現に向け、「中期経営計画2022-2024」の計数指標としては、売上高及び研究開発費控除前の営業利益を設定



※1：研究開発費は、中長期的な成長に向けた積極的な事業投資により大きく変動する等、現時点において見通すことが困難であるため、利益面における指標は、研究開発費を控除する前の営業利益を計数指標としております。

※2：現時点での会社としての概算額を示す参考値であり、達成を目指す目標として位置付けるものではありません。

※3：641億円(2017年12月期)

※4：営業利益133億円(2001年3月期)

「中期経営計画2022-2024」と「VISION2030」

戦略と施策、計数の概要

